



山端 博 (市民連合クラブ)

中心市街地の活性化に向け 民間との連携、協働を

各種事業者から事業提案を受けた

議員 次期中心市街地活性化基本計画の策定には民間との連携、協働が重要だ。民間事業所等からはどのような事業提案があったのか。

観光商工部長 説明会では十七事業者三十二名が参加し、最終的には建設事業者、不動産事業者、商店街等の四事業者から都市福祉施設の整備、街なか居住の推進、商業の活性化、公共交通の利便性向上といった国の認定要件に該当する七件の事業提案がありました。

議員 電柱の地中化についての基本的な考えは、
建設部長 建設コストが高額となることや、これまででは電気通信事業者への支援がなかったことから、事業実施が困難でしたが、国で着手している

電柱地中化促進に向けた制度整備に注視し、今後必要に応じて関係者と協議、検討したいと考えています。

議員 景観、防災の観点から、官庁街通りの玄関口といえるみちのく銀行旧稲生町支店周辺の整備を進めるにあたっては、電柱を埋設すべきだ。

企画財政部長 平成三十年

度

に実施予定の中心市街地循環バス実証運行のデータを検証し、次期中心市街地活性化基本計画等の関連計画との整合性を図りながら施設整備の場所についても調査研究したいと考えています。

議員 旧亀屋跡地に商業施設と交通拠点施設が整備されれば、公共交通の利便性向上はもちろん、商店街の活性化にも大きな影響を与えると考える。次期中心市街地活性化基本計画の事業の一つとして、ぜひ具体的に検討してほしい。



電柱地中化でスマートな中心市街地を

議員 路線バスや夜行バス、タクシー、コミュニ

経営的観点から中央病院の 看護体制を見直しては 急性期病院として 現体制を維持したい



堰野端 展 雄 (自民公明クラブ)

議員 平成三十年年度の診療報酬改定で、入院基本料の区分が再編された。

中央病院は、看護体制(※患者数と看護師数の比率の基準)七対一相当としていますが、これでは多数の看護師の確保が必要となる。経営的観点から十対一相当に変更することを検討してはどうか。

病院事務局長 収支を単純に試算すると十対一相

当の方がいいのですが、上十三地域の中核的な急性期病院として七対一相当を維持しなければならぬと考えていますので、これらを含めてこれから検討していきます。

民生部長 全国的に事例が少ないことから、現時点での考えはありませんが、今後国や他の自治体の動向を注視しながら情報収集したいと考えています。



経営安定に向けた取り組みを

議員 景観法が制定されて十年以上が経過し、良好な景観に対する国民の関心は高まっているようだ。景観形成にかかわる市民活動の育成や支援、意識の高揚を図りながら、市民と行政の協働による魅力ある身近な景観づくりを推進するために、景観計画や景観地区、または景観条例等を定めたいかどうか。

議員 近年、高齢ドライバーのペダル踏み間違いによる交通事故が頻繁に起きている。最近はこの事故を防止するため、踏み間違い防止機能のあるペダル等、さまざまな技術が実用化されてきている。交通事故防止装置の購入に補助をしては、

市長 景観法では景観行政団体が計画や条例を定めることとなります。当市は景観行政団体ではないので、県の計画や条例に基づき景観の保全、形成に取り組んでいます。景観行政団体への移行については、必要性等を調査研究したいと考えています。